

| 事業名 | 幼児期の子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業 | | 団体名 | CAPおかやま | | | 事業総額 (決算額) | ¥450,706 |
|-----|---|------------|------------|---------------|--------|-----------|---|----------|
| | | | 担当課 | 岡山市保健所 健康づくり課 | | | | |
| NO. | 評価項目 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 評価の理由 | |
| | | 多くの成果を得られた | 想定以上の成果を得た | 概ね想定どおりだった | 課題が残った | 多くの課題が残った | | |
| 1 | 協働の相乗効果、波及効果は生まれましたか？ | ○ | | | | | 実施が進むにつれ、NPOだけでなく、担当課の保健師さん等から多岐にわたる提案をたくさんいただいた。双方の持つ、知識や情報を集めたパンフレットやポスターができた。また、その成果物を見て、使用の打診があったり、新聞で取り上げられることで、問い合わせや相談があり、幅広く波及していったことを実感している。 | |
| 2 | 提案団体と岡山市の役割・責任の分担は当初の予定どおりに実行されましたか？ | ○ | | | | | 予定通りに実行できた。 | |
| 3 | 協働事業のモデルとなることを意識して、今後につながる成果を生み出すことができましたか？ | | | | ○ | | 年度の終わりに実施してみてもの振り返りに、より良くするための丁寧な提案をいくつも受けたが、実施できずに単年の事業となったので。 | |
| 4 | 当初に設定された事業目標を達成することができましたか？ | | | ○ | | | H27年度実施予定の事業は達成できた。次年度に続く、継続実施やさらに広げていくという点は達成できなかった。 | |

| | | | |
|---|----------------------|---|------------|
| 5 | 今後の展望について(NPOより) | <p>1. H28年度もポスターやパンフレットを使った健診の実施</p> <p>2. 保健師さんからの振り返りを活かし更に効果的な事業の実施。</p> <p>3. さらに拡げる事業として、子育て支援センターや児童館での掲示や利用者の支援のために成果物を利用したり、情報提供等の研修の実施。</p> <p>4. 児童虐待の予防に向けて、広く市民に向けての啓発活動の実施。</p> | |
| | 今後の展望について(岡山市より) | <p>1.H27年度作成したポスター、パンフレットを引き続き健診で活用し虐待予防啓発を実施していく。</p> <p>2.CAPの研修で学んだ保護者の気持ちや、その気持ちを理解することで健診等での虐待予防に活かしていく。</p> | |
| 6 | 総評(ESD・市民協働推進センター) | <p>NPOと岡山市がともに協議を行い、成果物を作成することができました。今回、団体だけでなく市職員や保健師の働きかけが大きく、ともに課題解決を行った良事例となりました。また成果物も今後の活用に繋げることができました。</p> <p>しかしながら、一歩踏み込んだ健診中の声かけ・働きかけは(受診者が多いこともあり)対応が難しいことが多く、更に拡げていくためには異なる切り口での取り組みが必要になってくると考えます。</p> | |
| 7 | 目標管理(ESD・市民協働推進センター) | 達成できた目標 | 達成できなかった目標 |
| | | <p>目標①市内全保健センター(6か所・分館のぞく)でのパネルとパンフレットの設置</p> <p>結果①市内全保健センターにてパネルとパンフレットを設置することができた。</p> <p>目標②保健師との意見交換を通じて現場のニーズや課題を把握する。</p> <p>結果②全3回の研修のほか、保健師との交流・情報交換の時間を持つことができた。(詳細は事業報告書に記載)</p> | |